

令和7年度 障害者支援施設いわくすの里地域連携推進会議議事録

日 時：令和7年11月19日（水）9：30～11：30

場 所：いわくすの里会議室

出席者：9名

利用者1名、保護者1名、地域関係者1名、やまの里施設長1名、村上市担当者1名
いわくすの里職員4名（施設長、サービス管理責任者、副主任生活支援員、生活支援員）

1. 開会

高橋施設長より開会にあたっての挨拶を行う。

別紙地域連携推進会議の概要（構成員向け）にそって、会議概要、趣旨等説明。

2. 参加者紹介

出席者全員が自己紹介を行う

3. 施設内見学

施設内案内し見学、浴室は使用中のため、タブレットで撮影した画像にて説明。トイレ、居室、リハビリの設備、移動移乗支援機（カールくん）や床走行式リフト、固定式のリフトなど見学。文化祭開催中で利用者の作品なども見ていただく。また、参加者より、職員やご利用者へ生活の様子や活動内容、職員体制などの話を伺うなどして交流を図る。

4. 議事

①いわくすの里事業概要及び障害の理解について

事業概要、平均年齢、平均区分、障害種別、医療的ケア対象等について、施設パンフレットやパワーポイント資料、別紙資料をもとに説明。

②利用状況（稼働状況）について

別紙R6年度、R7年度の稼働率集計表をもとに利用状況を説明。

③利用者の日常について

別紙日課表や行事予定表、食イベントの掲示物、いわくす通院などの資料をそって、画像を見ていただきながら利用者の日常について説明。

（質疑応答）＊施設見学、①②③の議題について、質疑の時間を設ける。

- ・入所者の待機状況や入退所、地域移行を希望されている方はいるか。

→現時点で待機者は15名。入退所はここ数年ない。地域移行については、介護医療院や特養へ申込みをしている方は2名いるが、地域移行を希望されている方はいない。地域の社会資源が不足していることや利用料金が高くなることが要因と考える。

- ・医療的ケア対象の方が増えていることから、看護師体制や支援員が対応するケースについて。

→看護師は2名体制。生活支援員が対応するケースとして、夜間看護師が不在の時のたん吸引を行うケースがある。たん吸引する職員は特定行為業務の研修を終了した職員が担っている。

④事故・ヒヤリはっについて

別紙事故・ひやりはっと報告書、R6年度・R7年度の自己分析結果をもとに説明。

⑤虐待防止、苦情関係について

別紙パワーポイント資料をもとに委員会の体制、研修会、苦情受付の体制等について説明。別紙自主点検とセルフチェック結果について説明。

⑥昨年度の満足度（意向）調査結果について

別紙満足度調査アンケートと集計結果について、結果はホームページで公表していることを説明。

⑦BCP（業務継続計画）の策定状況や訓練状況について

別紙業務継続計画（感染症、災害発生時の対応）、昨年からの研修内容について説明。

⑧経営状況について

別紙R6年度事業活動計算書をもとに経営状況について説明。

5. 質疑及び意見交換

- ・満足度調査の結果で不満があるを選択した方への対応について
→意見を頂いた方に対し、個別に確認や説明を行っている。また、改善策などは集計結果に付け加えて公表している。
- ・いわくすの里は近くにある施設だが、こういった機会がなければ中々知ることは出来なかった。例えば区長会の会議などで、施設見学や施設の方に来てもらって話を聴きたいといった意見が出た場合対応可能か。
→見学や相談については随時受け付けていることと、会議等に出向いて話をしに行くことは施設のことを知る良い機会でもあるので要望があれば対応していきたい。
- ・地域との関わりやイベントの計画はあるか
→コロナ流行以前は近隣の保育園のイベントや大学のイベントなどへ招待され、交流の機会があったが、最近は招待もなく、また、施設側からの積極的な関わりは実施できていない状況。外出支援では希望される方が個別に計画し、買い物や家族との食事会、同級会（ビデオ通話）などへ参加されている。
- ・入所ご利用者へのアンケートの聴き取りの仕方、対応の仕方について
→ご自分で記入できる方以外は、対象者の障害特性に配慮しながら担当の職員が聞き取りにて対応している。
- ・職員の対応について、メンタルケア等取り組んでいることがあれば教えてほしい
→随時上司が相談対応行い、必要に応じて業務上の配慮を行うなど対応している。
- ・施設で作っている広報誌は配布しているか。また、地元の関係者だけにでも配布してほしい。
→以前は配布していたが、現在はホームページ上への公開のみ。配布については今後検討したい。
- ・ラーメン屋台などのイベントは面白いと思う。どのように提供するのか見せてほしい。
→会議後に見学していただく。

6. 閉会

高橋施設長より閉会にあたりご挨拶行う。

次年度開催について簡単に案内を行う。